

事業評価の結果（内容評価項目）

（別添 2）

福祉サービス種別 障がい者・（児） 就労継続支援B型事業所

事業所名（施設名） 親愛の里シンフォニー

第三者評価の判断基準

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【障がい者・児福祉サービス版】共通項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
 「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
 「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
 「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>意思決定支援にもとづき、アセスメントを行い、自己決定の促進、障害特性に応じた支援や活動の提供を行っています。</p> <p>また、利用者の個々の状況に合わせた幅の広い柔軟な支援を行っています。さらに職員が日々の取り組みの中で、利用者の意見を聞く機会が多くあり、就労支援に生かされています。</p> <p>今後はこれらの取り組みについてマニュアルとして明文化することが必要です。さらに、アセスメントの結果が個別支援計画に反映され、記録されることにより、利用者の尊厳を尊重した支援につながることを期待します。</p>

	(2) 権利擁護	① 利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。	c)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 利用者の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。 ■ 8 利用者の権利擁護のための具体的な取組を利用者や家族に周知している。 ■ 9 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 10 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法等を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 11 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 12 権利擁護のための取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 13 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>利用者の権利擁護に関する規程、マニュアル等は整備されており、年1回の研修を行っています。</p> <p>また、権利擁護のための取り組みについて、ポスターを掲示し、利用者や職員に周知しています。</p> <p>今後は、再発防止策やその仕組みについて職員全体で検討し、それを明文化することが望まれます。</p>
2 生活 支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 14 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 15 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 16 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 17 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 18 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>多様な利用者の状況をふまえ、本人のニーズにもとづいた日中活動を提供し、利用者一人ひとりの状況に応じた自立・自律のための支援を行っています。作業においては、利用者の就労状況に応じた細かなグループ分けを行い、いくつかの選択肢の中から利用者が、自分に合ったものを選択できる取り組みを行っています。</p> <p>しかし、これらについての個別支援計画や提供記録への記載は充分とは言えません。</p> <p>今後は、アセスメントによるニーズ把握が的確に行われ、個別支援計画に反映されること及びその内容が記録されることにより、全ての職員が、利用者の自立・自律の支援についての重要性を強く認識できる取り組みにつながることを期待します。</p>

		<p>② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 19 ■ 20 ■ 21 ■ 22 ■ 23 	<p>19 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。</p> <p>20 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。</p> <p>21 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。</p> <p>22 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。</p> <p>23 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。</p>	<p>利用者に応じて、作業過程を写真や図などを使って分かりやすい方法で可視化する等の工夫を行い、一人ひとりの状況にあわせた支援を行っています。</p> <p>また、利用者本人と確認を行い、職員間での情報共有を行っています。</p> <p>今後は、コミュニケーションについての課題等について、個別支援計画に反映し記録することが必要と思われます。また、マニュアルの作成等行うことで、より細やかな支援につながると考えられます。</p>
		<p>③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。</p>	<p>b)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 ■ 25 ■ 26 ■ 27 ■ 28 	<p>24 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。</p> <p>25 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。</p> <p>26 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。</p> <p>27 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。</p> <p>28 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。</p>	<p>定期的にサビ管や支援員が面接を行うことにより、利用者の意思を尊重した支援を行っています。</p> <p>そして、必要時に支援員とのやり取りができる環境があります。また、自己決定の難しい利用者への柔軟な対応を行っています。</p> <p>今後は、相談内容が確実に記録され、個別支援計画やサービスマニュアルに反映され、全ての職員が等しく利用者の意思を理解し、統一した対応を行うことにより、思いを一つにした支援を行うことができると思います。</p>

<p>④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>29 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動（支援・メニュー等）の多様化をはかっている。</p> <p>30 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。</p> <p>31 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。</p> <p>32 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。</p> <p>33 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。</p> <p>34 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。</p>	<p>利用者の個々のニーズを把握し、個別支援計画にもとづく日中活動支援を行っています。特に自主製品の販売では、利用者が直接販売活動に携わっており、また、出前喫茶や喫茶営業では、地域の方々と多くかかわる機会があります。</p> <p>さらに、年間行事では利用者が主体となり、旅行等を企画し、目的地等を決める等、利用者の強みを生かした日中活動の支援を行っています。</p> <p>しかし、個別支援計画に明記されている内容が充分とは言えません。今後は、アセスメントによるニーズ把握が的確に行われ、利用者のニーズが個別支援計画に反映されること及びその内容が記録されることにより、より細やかな支援につながることを期待します。</p>
<p>⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>35 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。</p> <p>36 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。</p> <p>37 利用者の不適応行動などの行動障がいに個別的かつ適切な対応を行っている。</p> <p>38 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。</p> <p>39 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。</p>	<p>利用者の障がいの状況に応じた活動については、利用者の状況に合わせて、写真や図を使って具体的に構造化され、障がい状況に応じた支援が行われています。</p> <p>今後は、利用者の不適応行動等や障がいについて、個別的かつ適切な対応についての検討会議の記録等の整備を行い、具体策を明文化することで、より適切な支援につながることを期待します。</p>

<p>(2) 日常的な生活支援</p>	<p>① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 40 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 41 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 □ 42 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 44 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>当事業所では入浴支援は行っていませんが、食事や排せつ等、利用者一人ひとりの状況に応じた日常支援を行っています。個別支援計画には、作業支援や就労支援の取り組みについては記載されていましたが、日常的な生活支援の取り組みについては記載が確認できず、個別支援計画にもとづく、日常的な支援が行われているかの記録の確認ができませんでした。</p> <p>今後は、アセスメントによる日常的な生活支援のニーズ把握が的確に行われ、個別支援計画に反映され、その内容が記録される必要があると思います。また、作業支援や就労支援のみならず、社会生活を送るための日常的な支援についても、取り組みが強化されることを希望します。</p>
<p>(3) 生活環境</p>	<p>① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。</p>	<p>b)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 45 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 46 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 47 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠（休息）できるよう生活環境の工夫を行っている。 ■ 48 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 49 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>作業場は利用者の状況に配慮した作業しやすい環境が整えられており、活動の場と休むことができる量のスペースが確保される等、当事業所の利用者が安心、安全に就労活動に専念できる環境が確保されています。</p> <p>今後は利用者の生活環境に関するマニュアルの作成等を行い、全職員が、定期的に見直しを行うことにより、より一層の利用者の意向等を考慮した生活環境の確保につながることを思います。</p>

<p>(4) 機能訓練・生活訓練</p>	<p>① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■ 50 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。</p> <p>■ 51 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。</p> <p>□ 52 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>■ 53 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。</p> <p>■ 54 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。</p>	<p>利用者の一人ひとりについて、リハビリ先や通院先、家庭及び関係機関等との連携を図りながら、社会生活を行うための作業訓練・生活訓練を行っています。</p> <p>また、喫茶部門での毎週月曜日の「材料の買い出し」など積極的な取り組みを行い、社会生活の能力の向上を図っています。</p> <p>今後は、これらの取り組みを個別支援計画に反映させ、記録し、定期的なモニタリングを行うことで、一人ひとりに寄り添った支援につながることを期待されます。</p> <p>また、機能訓練や生活訓練の内容等について職員研修等を行い、全ての職員が課題を共有することが必要と考えます。</p>
<p>(5) 健康管理・医療的な支援</p>	<p>① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■ 55 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。</p> <p>■ 56 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。</p> <p>■ 57 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。</p> <p>■ 58 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。</p> <p>■ 59 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>	<p>医療の専門職のスタッフはいませんが、他機関の専門職等と連携して利用者の健康管理及び体調急変時の対応を行っています。</p> <p>また、村と連携して、月1回の健康診断を行い、健康管理に努めています。今後は、利用者の健康管理等に関する職員研修等の機会を設け、健康管理に関する職員の意識の向上につながることを希望します。</p> <p>さらに、地域の専門職等と連携して、当事業所独自の利用者の健康管理に関するマニュアル等作成することにより、利用者が健康で就労できる環境作りが行われることを期待します。</p>

	<p>② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。</p>	<p>b)</p>	<p><input type="checkbox"/></p>	<p>60 医療的な支援の実施についての考え方（方針）と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。</p> <p>61 服薬等の管理（内服薬・外用薬等の扱い）を適切かつ確実に行っている。</p> <p>62 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。</p> <p>63 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。</p> <p>64 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。</p> <p>65 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。</p>	<p>外傷や体調不良時には医療機関の看護師と連携し、必要に応じて通院を支援しています。また、家族と連携を行い、受診を促す等を行っています。</p> <p>さらに予防接種等については、施設において集団接種や個々の摂取等の選択ができるように配慮し、できる限りの支援を行っています。</p> <p>今後は、医療的な支援の実施について、すべての職員が理解できるマニュアル等の整備を行うことが必要と考えます。また、職員間で情報共有を行い、不測の事態に早急に対応できる体制を強化することが求められます。</p>
<p>(6) 社会参加、学習支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/></p>	<p>66 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。</p> <p>67 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。</p> <p>68 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。</p> <p>69 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。</p>	<p>利用者の希望と意向を尊重し、外出や行事等については、利用者主体で行われ、その内容や役割等、利用者が中心になって決めています。</p> <p>また、公共交通機関を利用して当事業所に通勤することや、喫茶部門では毎週月曜日に、1週間分の食材を地域の店に買い出しに行く等、実際の地域生活に生かす取り組みを積極的に行っています。</p> <p>さらに、日常の作業においては、利用者の意見や要望を聞き、利用者の意見が作業に反映される仕組みが整っています。</p> <p>今後は個別支援計画に反映され、確実に記録されることが必要と考えます。また、これらの仕組みをマニュアル化することにより、地域生活への意欲を高め、より一層の社会参加が期待されます。</p>

<p>(7) 地域生活への移行と地域生活の支援</p>	<p>① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 70 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 71 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 72 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 73 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 74 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	<p>GHの利用を希望される方に体験を促し、移行後の送迎等の通所方法について、シミュレーション等を行い、本人に説明しています。また、必要に応じて家族へ助言も行っています。さらに体験時には、実際に送迎等を行い、地域生活への移行がスムーズにできるよう取り組んでいます。</p> <p>今後は、これらの過程を個別支援計画に反映され、記録されることが必要と考えます。また、地域移行の取り組みの経験を明文化し、記録として残すことにより、業務の標準化が行われ、地域の社会資源としての役割を強く意識した公共性の高い施設としての取り組みが行われることを期待します。</p>
<p>(8) 家族等との連携・交流と家族支援</p>	<p>① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。</p>	<p>b)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 75 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。 ■ 76 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。 ■ 77 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。 ■ 78 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。 □ 79 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。 □ 80 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。 	<p>当事業所は、必要に応じ、利用者家族と面談を行い、利用者本人の状況説明と意見交換を行い、家族の意見、要望等の確認を行っています。また、家族への必要な助言を行っており、日々のやり取りについては「連絡ノート」を活用しています。</p> <p>しかし、利用者の体調急変時等の家族への報告等の対応について、職員は不安を感じているようです。</p> <p>今後は、利用者の体調不良時の家族への報告等を含め、利用者の家族との連携に関するマニュアルの作成及びルール化がされ、より一層の家族と連携した支援体制の強化が図られることを期待します。</p>

3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	b)		<p>81 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援（個別支援）を行っている。</p> <p>82 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。</p> <p>83 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。</p> <p>84 子どもと保護者に対し、学校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。</p>	対象外
4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	b)	■	<p>85 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</p> <p>86 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。</p> <p>87 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</p> <p>88 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</p> <p>89 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。</p> <p>90 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</p>	<p>利用者の状況に合わせ、得意なところを生かせる作業分担を基本とし、働く意欲につなげています。特に喫茶の調理班については、衛生面や火気、刃物の取り扱いや食品管理などを学習、指導する機会を設けています。</p> <p>また、月に1回地元のコーヒー店のオーナーからコーヒーの入れ方を学ぶ等の機会を提供するなど、積極的に利用者の働く意欲を引き出す取り組みを行っています。</p> <p>さらに、喫茶では利用者の作品を販売し、地域の人々との交流につなげています。</p> <p>今後は、これらの取り組みが、個別支援計画に反映され、記録され、さらにマニュアル化されることにより、より一層、利用者の働く力や可能性を尊重した支援につながることを期待します。</p>

<p>② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>91 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。</p> <p>92 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。</p> <p>93 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。</p> <p>94 賃金（工賃）等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。</p> <p>95 賃金（工賃）を引き上げるための取組や工夫を行っている。</p> <p>96 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。</p>	<p>利用者の作業については、各種手順書を用意し、写真、図等入れながら、利用者ごとに作業の構造化を行い、利用者に応じた適切な仕事内容が工夫されています。</p> <p>また、手順書の作成に当たっては、利用者の意見も取り入れています。さらに、工賃向上に向け、地域の企業からの情報を得て、新しい作業の検討等を行い、常に地域との連携を図っています。</p> <p>当事業所は、幅広い障害程度の利用者を受け入れていることから、必ずしも工賃アップにはつながっていませんが、利用者の状況に合わせた柔軟な対応を行うことにより、地域の利用者の就労の場として大事な役割を果たしています。</p> <p>今後は、これらの取り組みについてマニュアル化されることで、より一層、地域の社会資源としての役割を果たすことを期待します。</p>
<p>③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。</p>	<p>b)</p>	<p>■</p>	<p>97 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大（職場開拓）に努めている。</p> <p>98 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。</p> <p>99 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者与企业とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。</p> <p>100 就労後の利用者職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。</p> <p>101 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。</p> <p>102 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。</p>	<p>当事業所では、個別支援計画にもとづき、利用者が一般就労した場合の生活習慣等に配慮し、一つひとつの事を、日常の経験の中から学ぶ環境を提供しています。</p> <p>また、企業や関係機関と連携し、職場開拓と活動の支援に努めています。さらに、就労後の利用者職場との関係作りなど、必要に応じた取り組みを行っています。</p> <p>今後は、「地域の企業に就労する」ための生活習慣の確立等、アセスメントによって背景となったさまざまな要因についての課題を把握し、職員が協働して支援することにより一般就労に向けた力が養われることを期待します。</p>